

# 平成23年度佐賀環境フォーラム実績報告書

## 1 実施体制

組織体制は、佐賀大学・学生スタッフ・市民・佐賀市で構成する実行委員会形式

## 2 受講状況等

### (1) 受講要件

高校生以上

### (2) 受講料 (年間：前期・後期 ※スポット受講は講義のみ)

- ◇ 一般 : 5,000円
- ◇ 学生 : 1,500円 ※佐賀大学生は無料
- ◇ 法人 : 5,000円 (1口) ※1口で1人枠とし、誰が受講しても可
- ◇ スポット受講者 : 2講義につき 1,000円
- ◇ スポット受講者 (学生) : 2講義につき 300円

### (3) 参加者数 ※ [昨年度参加者数]

- ◇ 一般 : 40名 [36名]
- ◇ 法人 : 7社 [4社]
- ◇ スポット : 10名 [26名]
- ◇ 特別講演 : 12名
- ◇ 学生 : 2名 [2名]
- ◇ スポット (学生) : 2名 [3名]
- ◇ 佐賀大学生 : 25名 [51名]
- ◇ 大学コンソシアーム : 0名 [2名]

## 3 事業概要

### (1) 講義

- ◇ 平成23年5月12日 (木) から平成23年7月7日 (木) まで
- ◇ 午後7時から午後8時30分まで (※質疑応答：午後9時まで)
- ◇ 佐賀大学教養教育運営機構2号館 211番教室 (本庄キャンパス内)
- ◇ 全12回

※学生は、佐賀大学生、学生受講生、大学コンソシアーム受講生のこと。

回	日程	講義内容	所属等	講師名	受講者数		
					市民	学生	計
1	5月12日(木)	環境問題概論、フォーラム概要説明	佐賀大学 総合分析実験センター 准教授 佐賀環境フォーラム実行委員会 事業部長	兒玉 宏樹	39	22	61
2	5月17日(火)	環境行政の最前線 (温暖化国際交渉の舞台裏など)	環境省 環境保健部 化学物質審査室 室長	和田 篤也	42	24	66
3	5月19日(木)	佐賀市の環境施策について	佐賀市 環境下水道部長	竹下 泰彦	46	22	68
4	5月24日(火)	学生の環境活動への取組み	佐賀大学 産学官連携推進機構 教授	佐藤 三郎	28	24	52
5	5月26日(木)	佐賀大学の環境への取組み	佐賀大学長	佛淵 孝夫	30	21	51
6	5月31日(火)	太陽光発電(魚町エコループ)を利用した商店街のにぎわいづくり	北九州市 魚町商店街振興組合 副理事長	梯 輝元	32	21	53
7	6月2日(木)	経済学部のEA21の取組み	佐賀大学 経済学部 経営・法律課程 経営システム講座 准教授	小川 哲彦	27	22	49
8	6月9日(木)	佐賀の野鳥・野鳥観察の方法	佐賀野鳥の会々員	久我 浩人	34	24	58
9	6月16日(木)	有明海の環境再生に向けて	佐賀大学 低平地沿岸海域研究センター 准教授	速水 祐一	32	21	53
10	6月23日(木)	佐賀城お堀のハス再生への道のり	ハス再生実行委員会 総括事務局長	永原 光彦	33	22	55
11	6月30日(木)	佐賀大学の環境教育の取組み	佐賀大学 文化教育学部 人間環境課程 環境基礎講座 教授	岡島 俊哉	22	19	41
12	7月7日(木)	北極海から気候変動をひもとく	東京海洋大学 海洋科学部 海洋環境学科 環境システム科学講座 准教授	島田 浩二	35	21	56
合計					400	263	663

## (2) 体験講座

### 1) ごみ探検隊 平成23年5月28日(土)

【目的】 佐賀大学構内の燃えるごみを再分別することで、佐賀大学のごみの分別方法を見つめてもらい、正しいごみ分別方法を身につけることを目的としている。

【内容】 佐賀大学本庄キャンパス内で出た学部ごとの燃えるごみを4班で再分別し、その調査結果からどうしたら分別が徹底できるかを考察し発表。

佐賀大学から排出されるごみを収集している(有)佐賀資源開発の業務課課長の久米氏から、ごみの分別について説明をしていただいた。

### 2) 野鳥観察 平成23年6月18日(土)

【目的】 有明海などの野鳥や自然を観察することで、豊かな佐賀の自然環境を再認識し、身近な自然環境への関心を高めることを目的としている。

【内容】 東与賀海岸、佐賀城公園の2箇所で野鳥観察を実施した。

参加者数 ※ ( ) 内は昨年度の参加者数

内 容	一般	学生	スタッフ	計
ごみ探検隊	1 (4)	9 (40)	3 (3)	13 (47)
野鳥観察	9 (4)	8 (7)	4 (4)	21 (15)
計	10 (8)	17 (47)	7 (7)	34 (62)

※昨年度は植生調査の参加者数

## (3) 現地見学会

【日時】 平成23年8月11日(木)

【内容】 県内にある施設等の現地見学。以下の2コースのうち1つを選択。

全2コース / 1コース2ヶ所、2コース3ヶ所見学

1コース ①九州電力総合研究所 ②海水淡水化センター(まみずピア)

2コース ①大塚製薬佐賀工場 ②エフピコ佐賀工場 ③味の素佐賀工場

参加者数

コース	一般	学生	スタッフ	計
1コース	15	7	3	25
2コース	4	10	3	17
計	19	17	6	42

## (4) ワークショップ(WS)

### 1) グループWS

参加者がそれぞれの興味関心に沿ってグループに分かれ、グループ毎に研究テーマを決めて研究活動を行った。

参加者数

	一般	学生	計
平成22年度	8	21	29
平成23年度	9	22	31

## ア 主な研究内容

### ① シックスクール【継続：9年目（H15～）】

児童生徒のシックスクール症状を低減させることを目的として、シックスクール症候群について研究する。

### ②環境教育【継続：4年目（H20～）】

幼保園児を対象とした環境教育を構築することを目的として、幼稚園・保育園等で紙芝居やごみ分別ゲーム等を実施する。

### ③水環境【継続：7年目（H17～）】

佐賀市域の水環境のあり方について研究することを目的として、佐賀市内の河川などの水質等を調査する。

### ④チャリツーリズム（旧エコツーリズム）【継続：9年目（H15～）】

佐賀地域の自然や歴史・文化遺産を活用した観光（エコツーリズム）の確立と自転車利用の促進を目的として、佐賀地域の自然や歴史・文化遺産の調査や、イベントでレンタサイクル事業を実施する。

※今年度のEMS研究班は活動休止となった。

## イ 各種会議・発表会

① 全体会 平成23年 7月14日（木）

② 中間報告会 平成23年10月29日（土）

③ 研究成果発表会

【日 時】平成24年1月28日（土）13:00～15:15

【出席者】計48名（学生24名、一般18名、佐賀大学教員4名、佐賀市2名）

## ウ 研究成果

### ① シックスクール

佐賀市内の小中学校54校で室内空気を測定し、シックスクールの発生原因や発生場所などについて調査した。気温との関係や原因物質の1つであるホルムアルデヒドがパソコンの通気口などから発生していることが判明した。

### ②環境教育

佐賀市内の幼稚園・保育園など全11ヵ所で物の大切さを訴える紙芝居やごみ分別ゲームなどを行った。今年度は佐賀市立図書館などで開催するなど活動を拡大させた。

また、次年度以降に実施予定の、紙芝居やごみ分別ゲームに参加した幼保園児にどのような変化があったかを調査するアンケートも作成した。

### ③水環境

今年度から天祐寺川の水環境について調査を開始した。

天祐寺川（本庄地区）の水質や絶滅が危惧されているタナゴ類などの水生生物の生息環境などを調査するなど、天祐寺川の水環境の基礎データを得ることが出来た。

### ④チャリツーリズム

長崎街道沿いの歴史・文化財などの市内の観光地の調査や学内放置自転車を活用した「再生自転車」を使用しバルーン大会と佐賀城下ひなまつりでレンタサイクル事業を実施した。また、長崎街道沿いの観光地の調査の結果を基に、バルーン大会でのレンタサイクル事業では観光案内を行い、長崎街道沿いの歴史・文化財への観光客の誘致も行った。

## 2) インターンシップ型WS

今年度で2年目の取り組みで、学生が環境系NPO法人の活動を実際に体験することで、より身近に環境問題について学んだ。

参加者：計7名（すべて佐賀大学生）

### ア 派遣先NPO法人の概要

#### ①温暖化防止ネット

「電気自動車試乗会」や「みどりのカーテンの普及」などの環境活動や地球温暖化防止に向けた支援、環境に関する情報の発信、環境政策への提言など循環型社会の創造に向けたさまざまな取り組みを行っている

#### ②元気・勇気・活気「三気の会」

自然環境が維持、保全される社会を実現するため、人と環境に優しい無農薬・無化学肥料で安全、安心の農作物作りを目指す有機農業の普及を図っている。

### イ 各種会議・発表会

①全体会 平成23年7月14日（木） ※グループ・ワークショップと同じ日程。

#### ②活動成果発表会

【日時】平成24年1月28日（土）13:00～15:15

※グループWSの研究成果発表会と同じ日程

### ウ 活動成果

#### ①温暖化防止ネット

温暖化防止ネットが主催するイベント等の広報や準備、イベント補助を通じ、人と協力して作業をする大切さなどを学んだ。

また、イベントを通じて電気自動車などの最新の環境技術についても学んだ。

#### ②元気・勇気・活気「三気の会」

人と環境にやさしい農作物栽培やごみくい体験を通じて循環型社会とはなにかを学んだ。

また、いろいろな作業をする中で下積みや裏方の大変さ、ものづくりに取り組む姿勢などを学んだ。

## (5) その他イベント（平成「打ち水」夏の陣2011）

広く打ち水の実施を呼びかけることにより、市民や事業所等に対して省エネをはじめ、環境に配慮する意識を向上してもらおうきっかけとした。

### 【打ち水イベント】

日時：平成23年8月6日（土）15:00～16:25

場所：佐賀城本丸歴史館

参加者：約60名

## (6) 終講式

【日時】平成24年1月28日（土）15:15～15:30

### 【修了者数】

①一般 24名（40名中）②法人 3社（4社中）③学生 2名（2名中）

## 4 その他（フォーラム関連事業）

### （1）「チャリさがさいせい」がグランプリを受賞

第9回全国大学生環境活動コンテスト（ecocon2011）で、ワークショップから派生した学生グループ「チャリさがさいせい」と長崎大学の学生グループ「ちやり再生法研究会」で構成する「肥前自転車再生同盟」がグランプリを受賞した。

大学内の放置自転車を減らす取り組みや両大の連携が評価された。

### （2）河川清掃

佐賀大学本庄キャンパス構内および周辺の河川清掃に取り組んだ。

春と秋に地元自治会（佐大前自治会）と佐賀大学教職員、佐賀環境フォーラム学生スタッフを含む学生等が参加し、実施された。

春の河川清掃には学長と副学長が参加された。

#### 1) 春の河川清掃

日時 : 平成23年4月24日(日)

参加人数 : 約80名

#### 2) 秋の河川清掃

日時 : 平成23年10月24日(日)

参加人数 : 約40名